

# にしっこ 西っ子のみなさんへ 34

7月21日

1969年7月20日（日本時間では21日）。アメリカが打ち上げたアポロ11号が月に着陸しました。そして、アームストロング船長が人類として初めて月面に降り立ちました。この時アームストロング船長は、「That's one small step for a man, one giant leap for mankind.（これは一人の人間にとっては小さな一歩だが、人類にとっては偉大な飛躍である。）というメッセージを地球に送りました。



この時、私は小学2年生で、月を眺めながら、「今、人があの月に立っているんだ」と子どもながらに感動していたことを思い出します。

1957年10月、ソビエト連邦は史上初の人工衛星「スプートニク1号」を打ち上げに成功しました。後れをとったアメリカも人工衛星の打ち上げ、宇宙開発の強化のためNASAを発足させ、有人宇宙飛行計画（マーキュリー計画）を立ち上げます。

しかし、1961年4月、ソ連は世界で初めての有人宇宙飛行を成功させます。この時の宇宙飛行士ガガーリンは「地球は青かった」という有名な言葉を残しました。

またもやソ連に後れをとったアメリカ。時の大統領ジョン・F・ケネディは、1962年9月、テキサス州ヒューストンの大学での演説の中で、「アメリカ人を1960年代のうちに月に送る。」と発表します。それからわずか7年で、アメリカは本当に人類を月面に立たせました。国家をあげての大プロジェクトは成功し、アメリカはソ連を宇宙事業においてはじめて逆転することができたのです。

1970年大阪で行われた万国博覧会。アメリカ館には「月の石」が展示されましたが、大行列で見学をあきらめたことを思い出します。

アポロ計画は、11号の月面着陸成功を機に、その目的が「人類を月に送ること」から「月面の科学的探査」に変わっていきます。12号では月面のサンプルの採取や地震計・磁力計などの設置を行いました。13号は、宇宙に出た瞬間に爆発事故を起こし、1度月まで行き奇跡的に地球に帰還しました。（映画にもなっています。）15号では初の月面車を使っての科学探査を行いました。そして17号では地質学者を月に派遣しました。

20号まで予定されていたアポロ計画ですが、莫大な予算がかかるため、1972年に17号が地球に帰還したのを最後に終止符が打たれました。

それ以降、かれこれ50年近く人類が月に立ったことはありません。月面に立ったのはわずか12名です。

最近、月面開発の話がまたでていますので、皆さんが大きくなった時には、もしかしたら月面旅行も夢の話ではなくなっているかもしれませんね。



